

No.19 支え合い創出事業 （健康福祉課）

令和2年度にめざした姿(目的)

住み慣れた地域で暮らし続けるため、介護予防の取り組みを進めるとともに、地域全体で支え合える体制をつくります。

令和2年度にめざした成果

- ①地域住民、社会福祉協議会、行政が連携し地域課題を捉え地域福祉推進計画策定に取り組みます。
- ②地域福祉推進計画の策定を通じ、地域の福祉課題や解決に向けた話し合いを充実します。

令和2年度にめざした活動(主な取り組み)

- ①住民の声を聞き、計画に反映します。
- ①協議会と話し合いの場を持ち、地区にあった福祉を進めます。
- ②計画策定委員会を行い、実施可能な計画を策定します。また、住民にわかりやすく周知をします。

令和2年度の成果

- ①地域福祉計画策をきっかけに協議会と話を重ね、地区課題をみつけることができました。
- ②策定委員会を開催し、広く意見を聞き地域福祉計画ができました。

令和2年度の問題

- ①協議会ごとに、詳細を詰めていく必要があります。
- ②計画を進めるにあたり、庁舎内の連携と社協との連携を深める必要があります。

令和3年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ①福祉計画実施にむけて、さらに振興協議会と社協との話し合いを重ねていきます。

(2) 解決すべき問題への方策

- ①② 福祉計画を協議会単位で実施できるよう、各協議会と話し合う場を増やします。福祉に関する情報提供や、支援を行います。
福祉計画を協議会単位で実施できるよう、各協議会と話し合う場を増やします。

(3) 新たに取組む方策

- 企画政策課、防災担当とも情報共有を行い、福祉計画を進めます。